

資料 1-4

平成30年3月19日
第3回医療審議会

青森県保健医療計画（案）に対する意見・対応

1 青森県保健医療計画（案）に対する意見聴取の実施状況

(1) 関係機関・団体、市町村

○照会先（文書による照会）

医療関係団体（11か所）、40市町村、救急業務を処理する一部事務組合等（14か所）、病院事業を行う市町又は一部事務組合等（4か所）、保険者協議会、介護関係団体（11か所）

○意見募集期間 平成30年2月15日～3月5日

○意見提出状況

10団体から、10件の意見があり。

(2) パブリックコメント

○意見募集期間 平成30年2月15日～3月5日

○意見提出状況

0件

2 意見に対する対応状況

意見の分類	対応状況					
	文章修正等	記述済	実施段階検討	反映困難	その他	計
1 関係機関・団体、市町村	2	0	4	0	8	14
全般					2	2
総論（二次保健医療圏・基準病床数）						0
総論（地域医療構想）			4		2	6
総論（その他）						0
各論（5疾病・5事業及び在宅医療）	2				1	3
各論（医療従事者）					1	1
各論（その他）					2	2
地域編						0
2 パブリックコメント	0	0	0	0	0	0
全般						0
総論（二次保健医療圏・基準病床数）						0
総論（地域医療構想）						0
総論（その他）						0
各論（5疾病・5事業及び在宅医療）						0
各論（医療従事者）						0
各論（その他）						0
地域編						0
合計	2	0	4	0	8	14

（留意事項）

- ・提出された全ての意見を掲載しています。（字句の誤り等の指摘は除く。）
- ・意見の内容は一部要約しています。
- ・意見は、内容によって分類ごとに数件に分けて掲載している場合があります。

青森県保健医療計画（案）に対する意見・対応 【関係機関・団体、市町村】

番号	分類	意見の内容（一部要約）	対応区分	意見への対応状況（県の考え方）
1	全般	各方面にわたっており、よくまとまっていると思う。 この計画の達成に貢献したいと思っている。	その他	関係者の皆様から御協力を賜りつつ、計画に掲げた目標の達成に向け、取り組んでいく所存です。
2	全般	専門用語が多く、分かりづらいところがある。当該計画は、県民の役割が記載された、県民にとっての行動指針ともなるものであることから、脚注や用語解説を付けるなど、工夫があってもよかったと思う。	その他	計画の性質上、専門用語の使用はやむを得ないものと考えておりますが、本体とは別にＨＰに用語集を掲載するなど改善に努めます。
3	総論（地域医療構想）	青森県が策定した地域医療構想は、今後の本県における少子高齢化と人口減少に踏まえ、かつ地域の実情に合ったものとなっていることから、基本的には賛成する。	その他	関係者の皆様から御協力を賜りつつ、計画に掲げた目標の達成に向け、取り組んでいく所存です。
4	総論（地域医療構想）	住民がいつでもどこでも安心して質の高い医療が受けられるよう配慮しつつも、患者負担や保険料が過度な負担とならないよう、医療費適正化の観点を十分に踏まえた効率的で良質な医療提供体制としていただきたい。 併せて、医師をはじめとする医療並びに介護従事者の確保対策に引き続き努めていただきたい。	実施段階検討	いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	総論（地域医療構想）		実施段階検討	人口減少が進行する中、医療資源の乏しい地域における地域医療提供体制を確保する必要があることから、「へき地等医療の充実」を施策の柱に位置づけています。 いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
6	総論（地域医療構想）	急性期から在宅医療、介護に至るまでの一連のサービスを切れ目なく過不足なく提供するためには、退院後の受け皿となる在宅医療の提供や介護施設の整備を優先していただきたい。	実施段階検討	地域医療構想では、退院後の受け皿となる在宅医療提供体制が整備されることを前提に、現在入院で対応している患者さんの一定割合は居宅のほか介護施設等での対応を含む在宅医療等での対応が可能としていることから、地域医療介護総合確保基金等を活用し、在宅医療に取り組む医療機関の増加や訪問看護ステーションの機能強化等に取り組むこととしています。
7	総論（地域医療構想）	地域医療構想の具体化に向けては、県が医療関係者と数年をかけて十分な協議のもとに進めるものである。 特に、病床削減については、現在稼働している病床を直ちに削減するものではないことを、医療保険加入者にわかりやすく情報提供するなど、その不安の払拭に最善の努力をしていただきたい。	実施段階検討	いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	総論（地域医療構想）	計画期間内において、在宅医療その他必要な事項については、３年ごとに調査・分析・評価のうえ、必要に応じて計画内容を見直すとのことであるが、青森県地域医療構想に定められている必要病床数を見直すことはあるのか？	その他	地域医療構想の目標年である平成37年に向け、地域医療構想で定めた必要病床数と病床機能報告の結果を比べ構想の達成状況を測ることとしており、現時点で見直しは考えていません。
9	各論（その他）	地域包括ケアシステムの構築を進めていく中で、訪問看護の関わりが少ないように思う。退院前には介護支援専門員のみならず訪問看護師も入院中から関わることが大事だと思う。医療的ケア児の訪問看護が可能とされているステーションは、書面上では多いようであるが、実際に訪問できているステーションは少数と認識しており、これからの取組に期待する。	その他	県では、訪問看護を推進する上で①訪問看護職員数の不足②１施設当たりの看護職員数が少ない③訪問看護サービスに対する認知の不足といった問題があると認識しており、地域医療総合確保基金を活用するなどして、訪問看護職員の育成や認知度向上に向けた取り組みを行っています。

青森県保健医療計画（案）に対する意見・対応 【関係機関・団体、市町村】

番号	分類	意見の内容（一部要約）	対応区分	意見への対応状況（県の考え方）
10	各論（5疾病・5事業及び在宅医療）	（がん対策）がん発病の原因の一つと分かっているヘリコバクターピロリ菌、HPV、B型・C型肝炎等、感染症対策に関して何らかの記載をするべきではないか？	その他	<p>肝炎対策については、がん対策とは別に項目を設置し、取り組み等を記載しています。</p> <p>また、ヘリコバクターピロリ菌は、胃がんの感染リスクであることは科学的に証明されていますが、国において、除菌の胃がん発症予防における有効性等について国内外の知見を速やかに収集し、科学的根拠に基づいた対策について検討するとされているところです。</p> <p>医療計画では、HPV及び（がん対策という視点での）感染症対策については記載しておりませんが、保健医療計画と時期を同じく策定を進めている「第三期青森県がん対策推進計画」に記載しています。</p>
11	各論（5疾病・5事業及び在宅医療）	（精神疾患対策）「市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」について、備考欄に「複数市町村による共同設置可」と追記してほしい。	文章修正等	いただいた御意見のとおり、文言を追記しました。
12	各論（5疾病・5事業及び在宅医療）	（災害医療対策）DHEATの記述が必要ではないか？	文章修正等	いただいた御意見を踏まえ、文言を追記しました。
13	各論（医療従事者）	（看護師）介護サービス従事者としての訪問看護師や介護老人福祉施設及び介護老人保健施設の看護職員についての記述が見えずらい。今後、医療・介護連携を進める上でも重要と考える。	その他	訪問看護の必要性については、在宅医療対策分野において記載しています。看護師確保対策を進めるに当たっては、医療機関だけでなく介護施設でのニーズも踏まえた上で対策を進めていきます。
14	各論（その他）	（臓器移植及び骨髄移植）現行計画にあるドナー登録受付窓口の整備拡充及び連携推進が、削除されているが、何か意図があつてのことか？	その他	現行計画に掲載のある御指摘の取組は県がボランティアの方々の後方支援で行っている業務であるため記載しませんでした。これまで同様に取り組んでいきます。